東京湾で地球とタッグを組む夏！

盤洲干潟
海の探究プログラム

2025
オンライン
説明会
5/9(金)
19:00～

君はここで、何を感じ
何を考える・・・

東京湾に奇跡的に残った自然干潟。
潮の満ち引きによって、
海になったり、陸になったり…。
そんな地球のリズムを感じながら
多くの生物に出会い、
地域の暮らしに出会う・・・

今までにない海のフィールド探究キャンプが
2025年始まります！

日　程

①6月6日(金)夕方～8日(日) フィールドキャンプ
（2泊3日：テント泊）

②9月21日(日)：中間発表会
③2026年3月：アウトプットイベント「ムーブメントを創ろう！」

場　所

①盤洲干潟（千葉県木更津市）　②③新渡戸文化学園または都内施設

※本プログラムは１年間を通して、参加者自身が自らのテーマを深めていく探究学習です

【開催概要】

日　　程：①2025年6月6日(金)夕方～8日(日)：フィールドキャンプ（2泊3日：テント泊）
②2025年9月21日(日)：中間発表会
③2026年3月：アウトプットイベント「ムーブメントを創ろう！」

開催場所：①千葉県木更津市　盤洲干潟（金田みたて海岸および周辺地区）
②学校法人新渡戸文化学園（東京都中野区）＆オンライン
③都内施設　※オンライン配信有

募集人数：中１～高３
【定員】各学校4名（全体で10～12名を予定）

参加費　：28,000円（初年度モニター料金）※開催場所までの交通費は含まれません

申込締切：2025年5月20日（火）

※本プログラムは、３つの学校から生徒を募集し、合同で進める年間プログラムです。
※プログラム詳細と申込方法は、オンライン説明会（5/9）でご紹介します。または担当教員にお尋ねください。

探究サポーター紹介

海や干潟や地域のことに詳しい探究サポーターが
みなさんの学びをサポートいたします。
他にも多様なサポーターが参加します。

風呂田 利夫：海洋生物生態研究者／東邦大学名誉教授
東京湾に残った貴重な自然環境、盤州干潟の生物や生息環境について研究を始めて50年以上。都会の海の環境再生の提案も行なっています。

実形 謙：株式会社　凪人　代表
木更津市観光協会で観光教育を担当した経験を活かし、現在は（株）凪人を設立し、実家の観光漁業と地域の海の観光教育事業を行なっています。

人見 道夫：ネイチャーガイド
IT業界からダイビングインストラクターへ転身。環境教育、ファシリテーション、マインドフルネスなどを学び、人と自然を繋ぐネイチャーガイドをしています。

高橋 麻美：科学コミュニケーター
大学院時代にサンゴ礁の観察ガイド。日本科学未来館、海洋研究開発機構（JAMSTEC）勤務を経て、現在は国際NPOで持続可能な漁業の推進を行なっています。

大原 庄史：株式会社生態計画研究所／NPO法人生態教育センター
2005年から葛西臨海公園鳥類園のスタッフとして、湿地の保全活動や絶滅危惧種の保護対策を担当。現在は様々な緑地で生物調査と環境教育を行っています。

実施協力校　担当教員

新渡戸文化学園
山藤旅聞先生
東京/千葉の学校に通う私たちだからこそ、東京湾から海の魅力を深めましょう。

ドルトン東京学園
宮本裕美子先生
一緒に海の奥深さを楽しみながら、海について考えましょう！

千葉県立小金高等学校
探究学習メンター
椿 仁三千先生
海の魅力を感じながら、様々な学びを得て、深めていきましょう。

主催：特定非営利活動法人 海の環境教育NPO　bridge
〒153-0063　東京都目黒区目黒 2-3-1 ディアプレイス目黒101
TEL: 03-6303-1371　E-mail: info@npo-bridge.org
URL:　https://npo-bridge.org/

協力：木更津市観光協会/木更津市観光振興課／金田漁業協同組合

海の環境教育NPO　bridge
公式サイト ⇒